作成例

２０２０年度Ｇマーク説明会用資料

評価項目「Ⅲ.安全性に対する取組の積極性」

※この資料は、作成例です。

この資料は、東京都トラック協会ホームページ内ある「Ｇマーク認定に向けて」（会員専用）からダウンロードできます。

東京都トラック協会ホームページ → 適正化事業（Ｇマーク）→ Ｇマーク認定に向けて

Ⅲ.安全性に対する取組の積極性（ホームページ掲載画面）

※ここで示す書式は、あくまで参考です。

自 認 事 項	書式	作成例
1．事故防止対策マニュアルを活用している。（配点２点）		
・事故防止マニュアル表紙	Ｗｏｒｄ	―
・国土交通省　安全教育・事故防止マニュアル　第２編　本編　ダウンロードページ	リンク	―
・全ト協　事業用トラックドライバー研修テキスト１～５　ダウンロードページ	リンク	―
2．事業所内で安全対策会議等を定期的に実施している。（配点３点）		
・安全対策会議　議事録	Ｗｏｒｄ	ＰＤＦ
・事故防止ドライバーミーティング　議事録	Ｅｘｃｅｌ	ＰＤＦ
・グループＫＹＴ活動　シート	Ｗｏｒｄ	ＰＤＦ
3．荷主企業、協力会社又は下請会社との安全対策会議を定期的に実施している。（配点２点）		
・事故防止安全対策会議　議事録	Ｗｏｒｄ	ＰＤＦ
・事故防止ドライバーミーティング　議事録	Ｅｘｃｅｌ	ＰＤＦ
4．自社内独自の運転者研修等を実施している。（配点３点）		
・自社内研修記録簿	Ｗｏｒｄ	―
・添乗指導記録簿　１	Ｅｘｃｅｌ	―
・添乗指導記録簿　２	Ｅｘｃｅｌ	―
・添乗指導記録簿　３	Ｗｏｒｄ	―
5．外部の研修機関・研修会へ運転者等を派遣している。（配点２点）		
6．特定の運転者以外にも適性診断（一般診断）を計画的に受診させている。（配点２点）		
7．安全運転につながる省エネ運転を実施し、個別の指導教育を実施している。（配点１点）		
・エコドライブ指導表	Ｗｏｒｄ	ＰＤＦ
・エコドライブ　添乗指導表	Ｅｘｃｅｌ	
・走行・燃費管理表（月次燃費統計）	Ｅｘｃｅｌ	
・タコチャート個別指導記録	―	ＰＤＦ
・グリーンエコプロジェクト走行管理表	―	ＰＤＦ
8．定期的に「運転記録証明書」を取り寄せ、個別指導に活用している。（配点２点）		
9．グリーン経営認証や ISO 等を取得している。（配点１点）		
10．過去に行政等から輸送の安全に関する表彰を受けたことがある。（配点１点）		
・セーティドライバー・コンテスト　パターン１	―	ＰＤＦ
・セーティドライバー・コンテスト　パターン２	―	ＰＤＦ
11．その他輸送の安全に関する自主的、積極的、独創的、先進的又は高度な取り組みを実施している。（配点１点）		
・バックアイカメラ設置　証明資料（バックアイカメラを活用している場合）	―	ＰＤＦ
参考　運輸安全マネジメント（営業所内掲示での公表の場合）	Ｗｏｒｄ	ＰＤＦ

★目次★

項目１「事故防止マニュアル」
（１）事故防止マニュアル表紙　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）事故防止マニュアル写真撮影例・・・・・・・・・・・・・・・・・２

項目２「自社内安全対策会議」等
（１）安全対策会議議事録（書式・作成例）・・・・・・・・・・・・・ ４
（２）ドライバーミーティング議事録　・・・・・・・・・・・・・・・６
（３）グループＫＹＴ訓練記録簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・７

項目３「荷主企業、協力会社又は下請け会社との安全対策会議」等
（１）協力会社・事故防止安全会議議事録（書式・作成例）・・・ 10
（２）協力会社・ドライバーミーティング議事録　・・・・・・・・12

項目７「安全運行に係る省エネ運転の実施と個別指導」
（１）エコドライブ指導管理表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
（２）燃費管理表（走行管理表）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

項目 10「輸送の安全に関する表彰」
（１）表彰事例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

項目 11「輸送の安全に関わる自主的、積極的、独創的、先進的又は
高度な取り組み」
（１）資料添付方法事例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

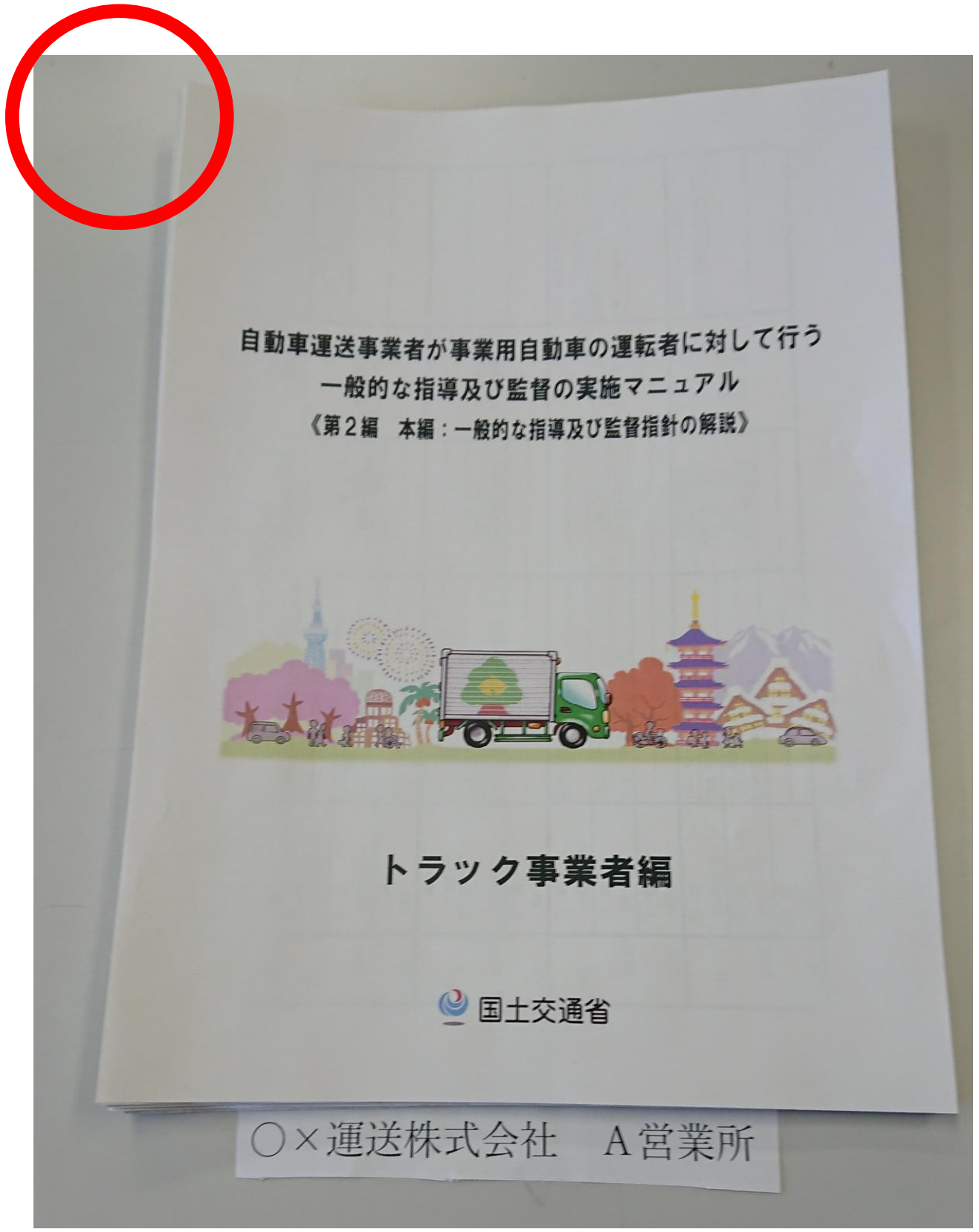
「安全に対する法令の遵守状況」運輸安全マネジメントに対する取組状況
（１）運輸安全マネジメント　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
（２）掲示例　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

事故防止対策マニュアル

事業者名：

営業所名：

年　　月　　日 制定



国土交通省または全ト協が制作したマニュアルについては、マニュアルと申請事業所名が確認できるものを一緒に撮影した写真での提出はＯＫ。

マニュアルのみの写真、マニュアルのみの写真の上から申請事業所名を記載したものは認めない。

安全対策会議

会社名		営業所名	
実施日		実施時間	：　～　：
議長（進行役）		実施場所	

議題内容

発言内容

結論（今後の対策）

参考資料	

出席者	出席者	出席者	出席者

記載例

安全対策会議

会社名	○○○（株）	営業所名	○○営業所
実施日		実施時間	：　～　：
議長（進行役）	△△　班長	実施場所	休憩室

議題内容

１．右左折時における交通事故の防止について

２．自転車との衝突防止について

会議内容

１．右左折時における事故の防止について、様々な事故事例を参考にして全員で話し合った。交差点内における信号無視による衝突や右折時の左側からの車両への対応策を話し合った。
・交差点の信号機の状態を早めに確認し、黄色信号が点滅したら停止するなどゆとり運転を心がける。

２．自転車との衝突事故防止について、事故事例を参考に話し合った。
・優先道路を走行する場合であっても、細い交差点道路等からの飛び出しがあるため、進行方向の交通状況を常に確認しながら運転することが必要。

結論（今後の対策）

・交差点で右折するときは対向車の動向をよく確認し、ゆとりをもって行動する。
・自転車は車両が止まるであろうと考えて走行してくる場合があるので、交差点は徐行して走行する等の余裕を持った運転を心がける。

参考資料	・右左折における事故事例（別添資料）・自転車との衝突事故事例（別添資料） **※議事録のほかに使用した資料も添付する**

出席者	出席者	出席者	出席者
東京　太郎	新宿　二郎		
四谷　一郎	東ト　三郎		
丸正　四郎	山田　太郎		

※出席者全員の名前を記載、役職員名簿にも名前の記載があるか必ず確認する。

議事録

記載例

作成日　○×年○月×日

議　題	10月度　事故防止ドライバーミーティング	進行役	新宿 進
日　時	××年×月×日　　17：00～18：00		
場　所	四ツ谷営業所　会議室	記録者	市ヶ谷　二郎
出席者	曙橋 太郎、代々木 武司、荒木 花子、飯田橋 卓		

項　目	議　事　内　容
安全会議	１．トラック協会から送られてきた、事故速報の事故内容についての検証 ・１０月１１日　荒川区内の事故について、同様の事故を自社で起こさないための対策等を話し合う。
事故の概要	◎ 自転車（死亡）と事業用中型貨物自動車の事故 自転車は、日光街道（下り）を歩道から車道へ出て三ノ輪方向へ逆走して進行した際に、千住大橋方向へ進行中（一方通行）の事業用中型貨物が、発見できずに衝突したもの。
発言者	**発言要旨**
新宿	原因は夜間の運行であること、自転車が歩道から車道に出てきたこと。この資料の内容だけでは、過失の大小は判断できないが、こういった事故を防止するために、どのような運転をすればいいか、みんなで考えていきたい。
曙橋	夜間走行時は対向車等に注意しながらではあるが、前照灯を切り替え見通しをよくして走行する必要がある。一方通行ならなおさらで、ハイビームに切り替えるなどの対応が必要ではないか。
荒木	特に、分かれ道になっている箇所などは飛び出しの危険も考えられる。
飯田橋	自転車を見かけたら夜間に限らず、ふらつきや急な横断を予測し、間隔を十分に取る必要があるのではないか。
代々木	運転速度は制限速度内であっても、見通しの悪い場所や自転車・歩行者を見かけたら、減速をするよう常に心がける必要がる。
新宿	そうはいっても、配達の時間に迫られていると、理想通りの運転は難しい。管理側としては、無理のない配車と運行管理をするよう努力して、事故を起こさないよう、会社全体で取り組んでいこうと思う。 明日からも、安全運転・安全運行でお願いします。

【作成例①】

株式会社〇〇運送　本社営業所　第１回　〇〇〇〇年度　ＫＹＴ訓練

実施：〇〇〇〇年８月２７日　１６：００～１７：００　　実施場所：本社休憩室

進行：足立部長　　書記：葛飾

出席者：江戸川　墨田　荒川　目黒　板橋

資料：【トラック１】交差点の右折

交通場面の状況等	
・信号機のある交差点を右折しようとしている。 ・対向車が接近している。 ・右折先の道路に駐車車両があり、歩行者の影が見える。	・制限速度：時速６０キロ ・路面：乾燥 ・天候：晴 ・積載状況：４トン車 ・運転者：年齢４８歳 ・運転経歴：１７年

どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：対向車が交差点に接近しており、このまま右折していくと衝突する危険がある。 □□：横断歩道の右側から自転車が渡ろうとしており、このまま右折して行くと衝突する危険がある。 ××：右折していく道路の先に駐車車両の影に歩行者が見えるが、この歩行者が横断してくるとはねる危険がある。	△□：対向車が接近しているときは、右折をせずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。 ×〇：右折していくときは、横断歩道の状況だけでなく横断歩道の先の情報にも注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。

総評（まとめ）〇〇部長

・対向車があるときは無理をせず対向車の通過を待つ。

・横断歩道の状況を確認する。特に横断歩道の右側からわたってくる自転車や歩行者は、見落としやすいので意識して確認をする

・右折していくときは、いつでも停止できる速度で進行する。

【作成例②】

株式会社〇〇運送　本社営業所　第２回　〇〇〇〇年度　ＫＹＴ訓練

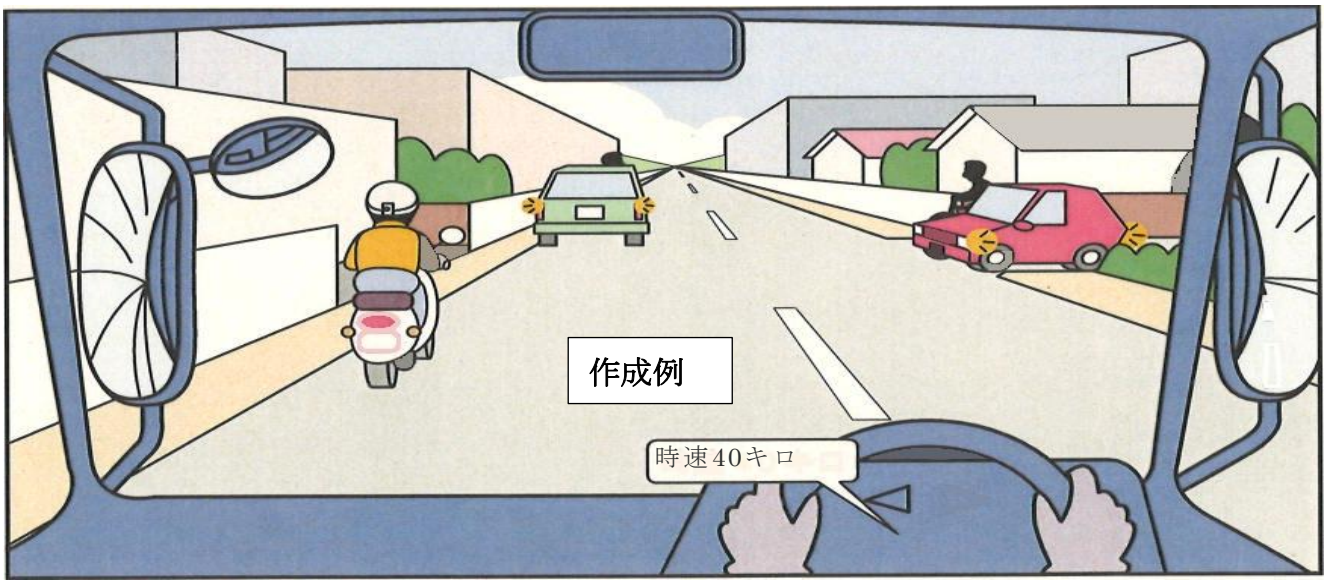
実施：〇〇〇〇年１１月１８日　１６：００～１７：００　　実施場所：本社休憩室

進行：足立部長　　書記：葛飾

出席者：江戸川　墨田　荒川　目黒　板橋

資料：【トラック３】住宅街の道路を走行

交通場面の状況等	
・住宅街の道路を走行している。 ・前方左側を二輪車が走行している。 ・右側の脇道から車や自転車が出ようとしている。 ・駐車車両の向こうに人影が見える。	・制限速度：時速４０キロ ・路面：乾燥 ・天候：晴 ・積載状況：２トン車 ・運転者：年齢３３歳 ・運転経歴：８年



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：駐車車両に進路を塞がれた二輪車が右に進路を変更してくることが予測されるので、このまま直進すると二輪車と衝突する危険がある □□：二輪車を追い越そうとすると、前方右側の側道から出ようとしている車と衝突する危険がある。 ××：前方の右側の自転車が出てくると衝突する危険がある。又、駐車車両の向こうの歩行者が道路を横断してくると、はねる危険がある。	△□：駐車車両などで進路を塞がれた二輪車は、後方の確認をせずに進路を変更することがよくあるので、追い越さずに先に生かせるようにする。 ×〇：脇道から車と自転車が出ようとしており、駐車車両の向こうには歩行者も見えるので、スピードを落として走行するとともに、脇道の車は先に行かせる。

総評（まとめ）〇〇部長

・あらかじめスピードを落として運行する。
・自転車やバイクの動きには十分注意する。
・駐車車両があるときは、その付近の歩行者の動きに注意する。
・脇道から出てくる車や、自転車は、先に行かせる。

【作成例③】

株式会社〇〇運送　本社営業所　第３回　〇〇〇〇年度　ＫＹＴ訓練

実施：〇〇〇〇年２月３日　１６：００～１７：００　　実施場所：本社休憩室

進行：足立部長　　書記：葛飾

出席者：江戸川　墨田　荒川　目黒　板橋

資料：〇月〇日　〇〇号車　ドライブレコーダー映像

交通場面の状況等	
・道路や通行中の車、自転車などできるだけ詳しく状況を記載する	〇自車の状況を詳しく記載する。 ・走行速度 ・積載状況 ・天候、路面の状態 ・運転者の年齢、運転経験等

どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：発言内容を記載する □□：・・・・・・・・・・・・ ××：・・・・・・・・・・・・	△□：発言内容を記載する ×〇：後でまとめやすいよう要旨を記載する

総評（まとめ）〇〇部長

・注意点をまとめて記載する。

・

・

協力会社・事故防止安全会議

会社名		協力会社様	
実施日		実施時間	
進行役		実施場所	

議題内容

発言内容

結論（今後の対策）

参考資料			
協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名
出席者名	出席者名	出席者名	出席者名

記載例

協力会社・事故防止安全会議

会社名	A運送(株)	協力会社様	B(株)（荷主）、C運輸(株)
実施日	○○××年７月１５日	実施時間	１４：００～１５：００
進行役	東京　太郎	実施場所	休憩室

議題

・他社の活用しているヒヤリ・ハット情報からの事故防止について
・ヒヤリ・ハット報告の集計・相互の共有方法について
・ヒヤリ・ハット活用の進め方について

会議内容

・ヒヤリ・ハットについては、集計方法、今後への活用方法が確立されていないと集めても何の意味も要さないので、集計方法から理解する必要がある。ヒヤリ・ハット情報から、独自のＫＹＴシートを作成しドライバーに実施させるのも、理解を深める手法の一つではないか。
・各社で情報を共有することで、さらなる事故防止につながるのではないか。

結論（今後の対策）

・ヒヤリ・ハット報告書の統計を集計し、事例を使用しドライバーに理解させる。
・独自のＫＹＴシート等を作成し、指導方法を画一する。
・安全対策会議にて全運転者に実施させるように発表する。
・今後の事故防止会議にて、各社で共有できるように情報交換に努める。

※相手先会社数及び出席人数は制限がない。１名でも参加していれば対象となる。

参考資料	・国土交通省ヒヤリ・ハット資料 **※議事録のほかに使用した資料も添付する**		
協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名
B(株)　○○○○	C運輸　△△△△		
B(株)　××××

議事録

記載例

作成日　　××年○月○日

議　題	９月度　協力会社ドライバーミーティング	進行役	浦和 御園（Ｂ社）
日　時	○○××年○月×日　　15：00 ～ 16：00		
場　所	Ｂ社 本社営業所　会議室	記録者	春日部 弘（Ｂ社）
自社出席者（Ａ社）	足立 大介、　板橋 則夫		
協力会社出席者	Ｂ社：　川口 一郎、　越谷 拓朗		
	Ｃ社：　横浜 雄也、　川崎 憲次		

項　目	議　事　内　容
安全会議 ヒヤリハット	１．平成28年８月18日の物損事故について（再発防止について） ２．首都高速道路の事故多発箇所の通行時交通事故防止について
９月度　事故報告	1)事故　　１件　××年○月××日　物損事故　埼玉県朝霞市 2)誤破損　０件 3)その他　０件 **※記録簿のほかに当日使用の資料を必ず添付する。**
発言者	**発言要旨**
足立氏（Ａ社）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（発言内容記載）
横浜氏（Ｃ社）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（発言内容記載）
板橋氏（Ａ社）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

エコドライブ指導管理表　　作成例

年　　月　　日　（　　）　　運転者名：山田　太郎　　指導者名：山本　二郎

自己申告事項

1．早めのシフトアップができた。　Ｙｅｓ・Ｎｏ

2．アクセルの踏み代５分目以下ができた。　Ｙｅｓ・Ｎｏ

3．車間距離を十分に取れた。　Ｙｅｓ・Ｎｏ

4．法定速度運転ができた。　Ｙｅｓ・Ｎｏ

5．エンジンブレーキが活用できた。　Ｙｅｓ・Ｎｏ

管理者名：

指導内容

例

・急加速・急発進の有無
・等速運転の実施
・アイドリングの有無
・アクセルの踏み込み方
・エンジンブレーキの活用

※エコ運転から事故防止に繋がる内容の指導を行うこと

◇◆◇◆運輸株式会社 東京本社

20▲▲年●月度

東京

グリーン・エコプロジェクト

走行管理表

● 東京 ○○○
あ 99-91

車両責任者　東京　太郎

目標燃費	4.57
前月末 最終給油時メータ	894940
今月末 最終給油時メータ	903783
月間走行距離	8843
月間給油量	1955
月間燃費	4.52

■ ドライバーコメント
例：目標に対してどうだったか
次月は何に気を付けるか　など

早めのシフトアップを心がける。

■ 管理者コメント

目標までもう少しでしたね。
引き続き頑張ってください！

平成○○年○月○日
指導者：佐藤　印

体調管理とエコドライブを気にかけて。

▼ 距離メータ記入時は、すべてのケタ数をご記入ください。

日付		距離メータ	走行距離	給油量	燃費	メモ（給油者等）
3/1	金	895361	421	107	3.9	東京
3/2	土	89570			4.8	東京
3/3	日					
3/4	月	89612			4.7	東京
3/5	火					
3/6	水	896441	320	70	4.6	東京
3/7	木	896989	548	110	5	東京
3/8		52	263	73	3.6	東京
3/9	土	897530	278	60	4.6	東京
3/10	日					
3/11	月	897952	422	97	4.4	東京
3/12	火	898392	440	93	4.7	東京
3/13	水	898702	310	69	4.5	東京
3/14	木	899069	367	83	4.4	東京
3/15	金					
3/16	土	899442	373	77	4.8	東京
3/17	日	899775	333	67	5	東京
3/18	月	900219	444	84	5.3	東京
3/19	火					
3/20	水	900685	466	110	4.2	東京
3/21	木		339	82	4.1	東京
3/22	金	901263	239	59	4.1	東京
3/23	土	901626	363	89	4.1	東京
3/24	日					
3/25	月	902032	406	75	5.4	東京
3/26	火	902476	444	90	4.9	東京
3/27	水	902686	210	57	3.7	東京
3/28						
3/29	金	903148	460	98	4.7	東京
3/30	土	903542	396	86	4.6	東京
3/31	日	903783	241	58	4.2	東京

Gマーク申請用　参考資料

※選任運転者の半数以上、1か月分を添付して下さい。

運転者の氏名の記載も忘れずに！

ドライバーのコメントも必ず入れる。

管理者コメント欄に、指導実施の日時、指導者の署名・捺印を忘れずに！

（一社）東京都トラック協会

表彰状

〇〇〇〇□会社 殿

貴社は平素より安全教育を徹底されその成果として平成三十年度セーフティドライバー・コンテストに参加されたチームが期間中の無事故・無違反を達成されました

よってここに表彰いたします

□年三月三十一日

一般社団法人東京都トラック協会

会長 浅井 隆

この達成証は、〇〇会社・〇〇営業所

〇チームのものであることを証明します。

会社名・営業所名

代表者名 印

表彰状

○○○株式会社

○○○営業所　殿

貴社は平素より安全教育を徹底されその成果として平成三十年度セーフティドライバー・コンテストに参加されたチームが期間中の無事故・無違反を達成されました

よってここに表彰いたします

年三月三十一日

一般社団法人東京都トラック協会

会長　浅井　隆

１１番　バック・アイカメラ　証明資料　　作成例

添付する資料

１．設置車両の写真、カメラ部分のアップ写真（当該資料）

２．設置車両の車検証の写し

３．機能のわかる説明書等の写し（取扱説明書等）

番号 01941

[redacted] 支局長

自動車検査証

自動車登録番号又は車両番号	登録年月日／交付年月日	初度登録年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状
練馬　１００　あ１０－０９	平成 16年 4月 13日	平成 10年 2月	[redacted]	貨物	事業用	[redacted]

車名	乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総重量
[redacted] [133]	5人	－kg	2520kg	4685kg

車台番号	長さ	幅	高さ	前前軸重	前後軸重	後前軸重	後後軸重
ＧＦ６－[redacted]	435cm	169cm	145cm	710kg	－kg	－kg	500kg

型式	原動機の型式	総排気量又は定格出力	燃料の種類	型式指定番号	類別区分番号
Ｅ－ＧＦ６	ＥＪ１８	1.82L	[redacted]	07177	0271

所有者の氏名又は名称　東京都トラック協会運送　株式会社

所有者の住所　東京都新宿区四谷３－１－８　[40502 0049]

使用者の氏名又は名称　＊＊＊

使用者の住所　＊＊＊

使用の本拠の位置

有効期間の満了する日　令和 ×年○○月○○日　年　月　日

備考

［横浜］，継続検査

自動車重量税額　￥３７，８００

［走行距離計表示値］９９，５００ｋｍ（平成１９年２月６日）

［旧走行距離計表示値］９４，１００ｋｍ（平成１７年１月２１日）

５３年度排ガス適合

以下余白

裏面もご覧下さい。

わが社の運輸安全マネジメントの取り組み

記載例

年度(　　年　月　日 ～　　年　月　日)

○　わが社の事故防止のための安全方針　　↑事業年度が4月～3月でも必ず記載する

・「運輸の安全は我が社の根幹」
・「安全運行はプロドライバーの社会的使命」　← 輸送の安全に係る方針にする。

○　社内への周知方法

・「安全方針」を従業員に配布すると共に社内及び営業所に掲示する。
・「点呼」の際に唱和することを習慣化する。

○　安全方針に基づく目標　← 達成状況の公表ができるよう、具体的な数値を入れた、輸送の安全に係る目標とする。

・人身事故0件
・速度違反0件

○　目標達成のための計画　← 目標を達成するための具体的な計画を立てる。～を計画するではなく、実施する具体的な予定等を記入する。

××○○年度の安全計画

・安全計画：ヒヤリハット情報の報告会の実施(毎月 1 回)、安全運転講習会の受講(1年 2 回以上)
適性診断(一般診断)の受診(運転者○○人)、安全会議の開催(毎月1回)等

○　わが社における安全に関する情報交換方法

・定期的に輸送の安全に意見交換会を運転者等と開催する。

○　わが社の安全に関する反省事項

・××○○年度の内部チェックは　月を予定。問題点等の結果は、社内及び営業所に掲示する。

○　反省事項に対する改善方法

・平成　年度の内部チェックにより把握した問題点等の改善方法を、社内及び営業所等に掲示する。

○　わが社の安全に関する目標達成状況　← 前年度の目標とそれに対する達成状況を記載する。

・○○××年度目標　"人身事故0"　⇒　事故0件目標達成　！
・○○××年度目標　"速度違反0"　⇒　違反0件目標達成　！

○　わが社の自動車事故報告規則第2条に規定する事故

・○○××年度　事故報告規則第2条に規定する事故発生件数　0件

※　結果が「0件」の場合にも必ず記載してください。

○○××年　月　　日

会社･営業所名：　○　○　株式会社　△　△　営業所

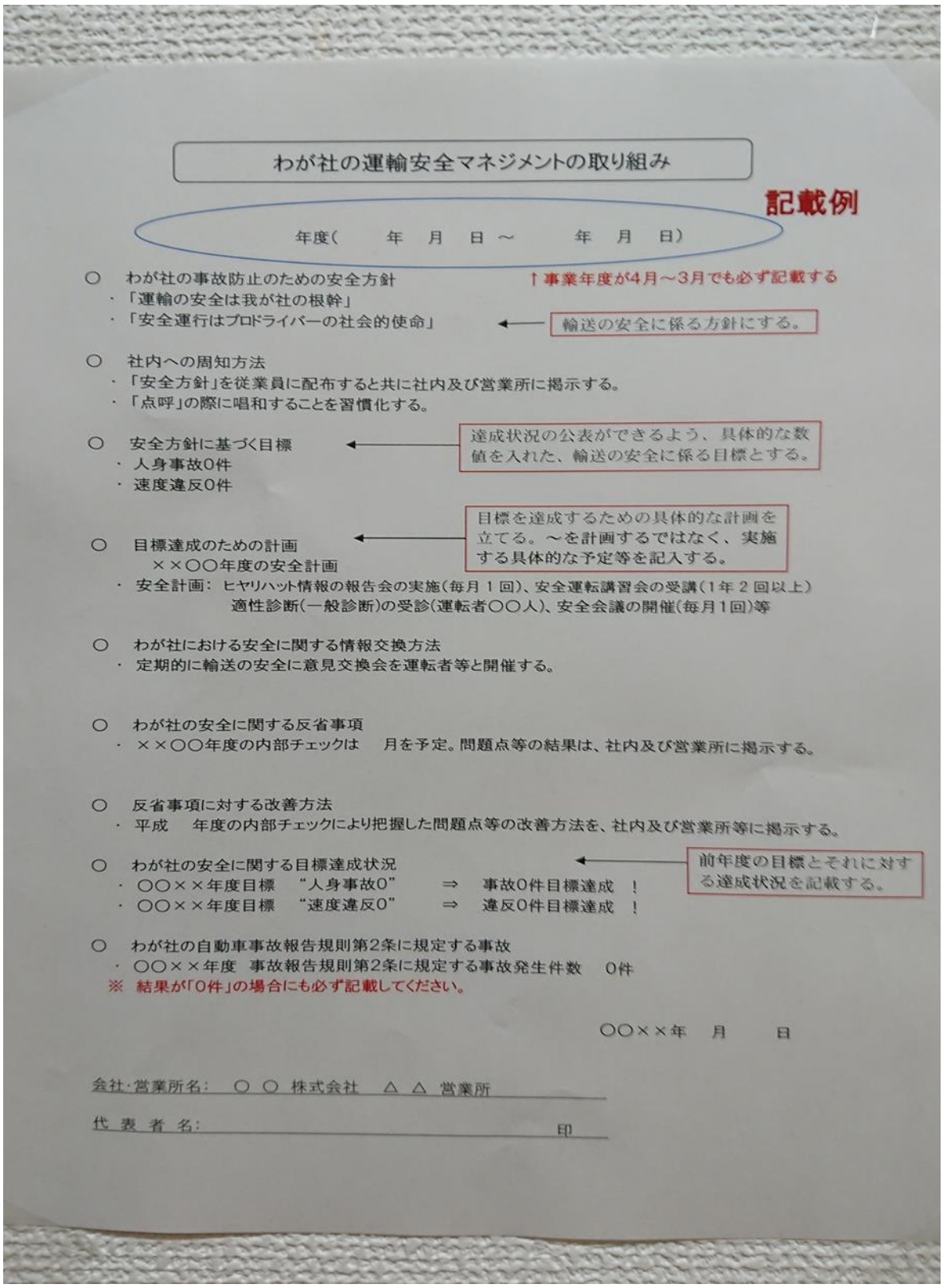
代　表　者　名：　　印

運輸安全マネジメント　掲示状況1

※営業所内のどの位置に掲示しているかを写真にして、提出する。

※掲示状況1、2両方の写真の添付が望ましい。

運輸安全マネジメント掲示状況2



わが社の運輸安全マネジメントの取り組み

記載例

年度(　　年　月　日～　　年　月　日)

↑事業年度が4月～3月でも必ず記載する

○　わが社の事故防止のための安全方針
・「運輸の安全は我が社の根幹」
・「安全運行はプロドライバーの社会的使命」

輸送の安全に係る方針にする。

○　社内への周知方法
・「安全方針」を従業員に配布すると共に社内及び営業所に掲示する。
・「点呼」の際に唱和することを習慣化する。

○　安全方針に基づく目標
・人身事故0件
・速度違反0件

達成状況の公表ができるよう、具体的な数値を入れた、輸送の安全に係る目標とする。

○　目標達成のための計画
××○○年度の安全計画
・安全計画：ヒヤリハット情報の報告会の実施(毎月1回)、安全運転講習会の受講(1年2回以上)
適性診断(一般診断)の受診(運転者○○人)、安全会議の開催(毎月1回)等

目標を達成するための具体的な計画を立てる。～を計画するではなく、実施する具体的な予定等を記入する。

○　わが社における安全に関する情報交換方法
・定期的に輸送の安全に意見交換会を運転者等と開催する。

○　わが社の安全に関する反省事項
・××○○年度の内部チェックは　月を予定。問題点等の結果は、社内及び営業所に掲示する。

○　反省事項に対する改善方法
・平成　年度の内部チェックにより把握した問題点等の改善方法を、社内及び営業所等に掲示する。

○　わが社の安全に関する目標達成状況
・○○××年度目標　"人身事故0"　⇒　事故0件目標達成　！
・○○××年度目標　"速度違反0"　⇒　違反0件目標達成　！

前年度の目標とそれに対する達成状況を記載する。

○　わが社の自動車事故報告規則第2条に規定する事故
・○○××年度　事故報告規則第2条に規定する事故発生件数　0件
※　結果が「0件」の場合にも必ず記載してください。

○○××年　月　日

会社・営業所名：　○　○　株式会社　△　△　営業所

代表者名：　　印

※項目1～3を示す、添付した資料と同じ物が掲示してある様子を写真に撮り資料として提出する。
（指示内容の文字等が判別できる写真）